

2. ダイカスト生産の過去5年の実績－「材質別」

単位・t ()内→対前年度比・%

年度：4月～3月	単位	ダイカスト合計	アルミニウム	亜鉛	その他
2017年度 (平成29年度)	t %	1,050,243 (107.4%)	1,026,502 (107.6%)	19,935 (98.2%)	3,806 (105.6%)
2018年度 (平成30年度)	t %	1,072,666 (102.1%)	1,049,858 (102.3%)	18,690 (93.8%)	4,117 (108.2%)
2019年度 (平成31年度)	t %	1,003,017 (93.5%)	981,696 (93.5%)	17,155 (91.8%)	4,166 (101.2%)
2020年度 (令和2年度)	t %	839,994 (83.7%)	822,176 (83.8%)	13,920 (81.1%)	3,897 (93.5%)
2021年度見込み (令和3年度)	t %	910,887 (108.4%)	889,211 (108.2%)	18,071 (129.8%)	3,602 (92.4%)
受注動向調査結果による 2022年度 (令和4年度)	t %	1,009,359 (110.8%)	987,899 (111.1%)	18,145 (100.4%)	3,315 (92.0%)

*1: 2017年度～2020年度

経済産業省生産動態統計確報の「ダイカスト合計」・「アルミニウム」・「亜鉛」・「その他」より各年度(4月から翌年3月)を算出

*2: 2021年度見込み(一部推計)

2021年4月～2022年1月確報は経済産業省生産動態統計

2022年2月、3月は需要予測部会で予測し、合計(見込み)を算出

*3: 2022年度はアンケート結果(表1)「アルミニウム」・「亜鉛」・「マグネシウム」全体の上期・下期より算出

*4: 表1 2022年度国内ダイカスト受注動向 アンケート結果抜粋

アルミニウム	上期	11.5%	下期	10.7%
亜鉛	上期	-1.4%	下期	2.1%
その他	上期	-20.2%	下期	6.1%

「その他」の材質は「マグネシウム」のアンケート結果を使用し、対前年同期重量を計算して年度材質別とダイカスト合計を算出した。

◎上記より需要予測部会では2022年度受注動向をアンケート結果(「アルミニウム」・「亜鉛」・「マグネシウム」)上期・下期より、対前年同期重量比で年度材質別とダイカスト合計を算出して下記のように予測した。

ダイカスト合計 10.8% (110.8%)

アルミニウム 11.1% (111.1%)

亜鉛 0.4% (100.4%)

その他 -8.0% (92.0%)